

骨密度検診のお知らせ

申込 問 住民福祉課 保健予防係(保健センター内) ☎62-9134

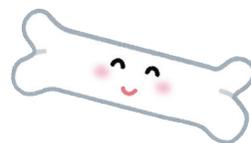
骨密度検診を下記のとおり実施します。対象となる方には申込書を送付していますので、希望する場合は忘れずに申し込みをしてください。

【検診日程】 9月10日(月)～14日(金)・18日(火)・19日(水) 計7日間を予定しています。

【対象者】 平成30年度中に以下の年齢に達する町内在住の女性
①45歳(昭和48年4月2日～昭和49年4月1日生)
②50歳(昭和43年4月2日～昭和44年4月1日生)
③55歳(昭和38年4月2日～昭和39年4月1日生)
④60歳(昭和33年4月2日～昭和34年4月1日生)

【申込締切】 8月7日(火)厳守

【検診一部負担金】 1,400円



● 検診一部負担金が免除になる方

- ①生活保護法(昭和25年法律第144号)の規定による生活保護を受けている世帯に属する方
- ②当該年度分の町民税非課税世帯に属する方

※①②に該当する方は、保健センターで受診日の前日までに申請をしてください。

(他の検診で、すでに「平成30年度健康診査一部負担金免除券」の交付を受けている方は、改めて申請する必要はありません。)

女性のみなさん

歯周病はサイレントディーズ(沈黙の病気)です

問 住民福祉課 保健予防係(保健センター内) ☎62-9134

歯周病は、静かに悪循環を進める厄介な「沈黙の病気」と言われ、全身の病気に影響します。特に女性はライフイベントに応じた注意が必要です。

○ 肥満

歯周病菌の毒素で肥満が進行しやすくなると言われています。さらに、脂肪の増加で分泌される炎症物質が歯周病を悪化させるという悪循環もあります。

○ 早産・低体重児出産

妊娠中に増加する女性ホルモンによって歯周病菌が増殖しやすく、歯周病になりやすくなります。歯周病になると分泌される炎症物質が子宮収縮を誘発し、早産や低体重児につながる言われています。

○ 骨粗しょう症

歯周病の炎症物質によって、全身の骨代謝に悪影響がおこり、骨粗しょう症が進行しやすくなります。また、一方で骨粗しょう症の方は歯を支えている歯槽骨もろくなりやすいため、歯周病が進行しやすくなっています。

● 歯周病は定期的な検診や適切な歯みがきによって予防できます

○ 妊娠中の方

… 妊娠届出時に配布した受診券を利用すると、一回無料で歯科検診を受けられます。

○ 今年度20・30・40・50・60・70歳になる方

… 歯周疾患検診の対象者(自己負担金:20歳は無料、30～70歳は200円)です。
忘れずに受診しましょう。